



北海道東川養護学校 学校便り

令和6年4月26日発行

第2号

〈発行責任者〉

校長 業 天 誉 久

# いなほ



## 「ようこそ、東川養護学校へ」



小学部 原 田 尚 幸

4月9日火曜日、東川養護学校入学式。小学部新1年生の8名が、たくさんの人達からの大きな拍手に迎えられ、会場である体育館に入場しました。恥ずかしそうにしている子、緊張して目を閉じ気味の子、何やら自信满满（に見える）の子、後から写真を見ると、いろいろな子の姿がありました。慣れない状況の中、それぞれの頑張りをを見せてくれた子ども達は、とても立派でした。そして次の日からは、初めての学習が毎日続いています。喜怒哀楽を豊かに表現しながら、みんな元気に活動しています。

今回8名の新入生に加え、新4年生にも転入生を迎え、小学部は総勢46名で新年度をスタートしました。小学部職員一同、保護者の皆さんの思いに寄り添いながら、子ども達の成長を共に喜び合えるよう、精一杯取り組んでいきます。一年間、どうぞよろしくお願いいたします。



## 「出会いの春」



中学部 佐 藤 純 平

今年度中学部1年生は17名の新しい仲間が入学し、中学2年生4名、中学3年生10名と合わせて中学部全体31名となりました。緊張と不安の中スタートした1年生も新しい仲間や先生、教室にも徐々に慣れ、新入生歓迎会へ向けた自己紹介の練習と学級設営に取り組んでいます。

中学部では、作業週間、体育大会、社会見学、宿泊研修(2年)、見学旅行(3年)、現場実習、東川養護祭、歩くスキー大会など多くの行事に取り組みます。それらの学習を通して、生徒に将来の生活に繋がる力を育成していきます。

保護者をはじめ、中学部生徒に関わるすべての関係者の皆様、1年間よろしくお願いいたします。



## 令和6年度の学習が始まりました。



訪問教育学級 河 合 忍

今年度は小学部2名、高等部2名の4名で訪問教育学級がスタートしました。対面方式で行った始業式では、校長先生の話の直接聞き、「アイロンビーズを作ってあげたい」と校長先生に伝えていました。子ども達の意欲を引き出す「人との関り」の大切さをあらためて感じ、子ども達に寄り添い、頑張りを支える訪問教育学級でありたいと思いました。

転出入が多く、同じ場所に集うことが難しい訪問教育学級ですが、リモートの活用やカレンダーを共同制作するなど、できる範囲で「仲間」を意識した活動に取り組んでいきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。





## 令和6年度の開始にあたり、「リスタート」

高等部 川 森 猛 司

高等部校舎付近の雪解けが遅く、春の訪れが遅く感じられましたが、春の日差しの暖かさをようやく感じられる季節となりました。

さて、4月8日（月）行われた入学式では、新たに13名の1年生が入学し、高等部は総勢32名となりました。入学式では、緊張した様子も見られましたが、1年生全員が揃って体育館へ入場することができました。新たな友達や先生方との出会いもあり、笑顔で挨拶したり会話したりする場面がありました。

また、2、3年生は始業式の日に多少緊張した様子があったものの、すぐに慣れた様子で、表情が昨年度と少し変わり、大人になった感があります。生徒それぞれが見通しをもっているため、スムーズに学習へと移行し、成長していると実感しています。今後も様々な活動を経験する中で、生徒同士が協力し合い、切磋琢磨しながら学習に取り組んでほしいと思います。

令和6年度は、より一層活気が戻ることでしょう。そして、学習経験を多く積むことができると思います。令和5年度を全てクリアにして、「リスタート」します。トライだけでなく、その後のキックを決めて点数を全て獲得するような勢いで進みたいと思います。

高等部の3年間はあっという間に過ぎます。限られた時間の中で卒業後の生活を念頭に置きながら、一人ひとりの目標や課題について「自分で解決する力」を少しずつ身に付けながら素敵な社会人になるよう指導、支援をしていきます。卒業後は自分で決めなければならないことが多いので、将来に向かっての希望をもちつつ、高等部の学習活動の中で「自分で決める」力を身に付け、大きく前進してほしいと思います。

保護者の皆様をはじめ、地域の皆様方にもご支援、ご協力をいただきながら学習活動を推進していきますので、令和6年度も、どうぞよろしくお願いいたします。



## 「地域とのつながりある取り組み」



子供支援部 三宮 小織

子供支援部では、特別支援学校のセンター的機能を果たすため、5名の特別支援教育コーディネーターを中心に、東川町や東神楽町、当麻町、旭川市の特別支援教育に関わる様々なニーズに応じています。

一例として、本校の所在地でもあります、東川町とは以下のような取り組みを行っています。



- ① 保健師や発達支援センター職員と連携した「1歳半・3歳児健診への参加と助言」
- ② 幼児センターや小中学校、高等学校からの要請に応じて、障がいのあるお子さんの指導支援について助言を行う「パートナー・ティーチャー派遣事業」「たいせつネット訪問相談事業」
- ③ 町内の特別支援教育の充実を図るために各関係機関と連携、研修を行うほか、お子さんの学びの場について検討する「教育支援委員会への参加」

子供支援部では、東川町をはじめ近隣の市町村のニーズに応じた取り組みに可能な限り参加及び実施できるように推進していきたいと考えています。お子さんのそだちにかかわるご相談がありましたら子供支援部までご連絡ください。

※学校ホームページを適時、更新しておりますのでご覧ください。

<http://www.higashikawayougo.hokkaido-c.ed.jp/>

